



自衛隊栃木地方協力本部

協力者と連携して自衛隊を精力的にPR！ ～ 『真岡市大産業祭』 に自衛隊広報ブースを出展～



多くの地域産業の出展もあり会場は大盛況

真岡募集案内所は「協力団体の皆様には、平素から自衛隊と地域の架け橋を担い、その繋がりを深めるためのご協力・ご支援をいただいている。今後も協力団体の活動が活性化するように取り組み、地域の組織的募集基盤を盤石なものにしていきたい」としている。

真岡市大産業祭は、真岡商工会議所主催「真岡市産業祭」とJAはが野主催「真岡地区JAまつり」が一体となった祭で、真岡市内の主要産業を紹介して地域活性化の促進と地域の魅力を発信する秋の一大イベントであり、4年ぶりの開催となった本祭りには、市内外から約55,000人が訪れた。
広報ブースでは、栃木地本・宇都宮駐屯地・自衛隊協力団体が連携して自衛隊募集に繋がる広報活動を実施した。特に今回は、おそろいの黄色の上着に身を包んだ真岡市自衛隊家族会（会長 植木親久氏）会員8名が「自衛隊募集中心！」のぼり旗を掲げ、自衛隊グッズ等の売店を実施し、自衛隊募集相談員真岡支部（支部長 前川 光氏）相談員3名が、来場者にティッシュ等を配りながら募集を呼びかける等、精力的にPR活動を行う姿は、自衛隊広報展を更に盛り上げ、広い会場の中でもひととき来場者の目を引いていた。展示では、中央即応連隊（宇都宮）の支援等による軽装甲機動車、1/2トトラックの展示、制服試着体験、階級章・徽（き）章の展示説明が行われ賑わいを見せていた。来場者の中には「TV番組で自衛隊の装備品や活動を目にしていましたが、実物の装備品を見るのは初めてです」と話す人もいた。また、TVで知り得た「自衛隊あるあるネタ」の真偽を質問し、交流を深める来場者もいた。



真岡市自衛隊家族会による売店も大盛況



体験搭乗・制服試着コーナーの賑わう様子